

雲南ブランド化プロジェクト

あきんど

修学旅行生の「大阪商人体験」 特産物販売で雲南市をPR



9月5日、修学旅行で京阪神を訪れた大東中学校2年生が、大阪市の福島聖天通商店街で雲南市の特産物販売を行い、普段はふれあうことのない大阪の人々との交流を図るとともに当市と映画「うん、何？」をPRしました。

大東中学校では、修学旅行中、生徒たちが主体的に選択する体験学習が行われています。今回、特産物販売を行ったのは、2年生128人のうち「大阪商人体験コース」を選択した37人の生徒たちで、巨峰、ハチミツ、番茶、発芽玄米、大豆せんべいを販売しました。

開始直後は、緊張と不安から控えめだった生徒たちでしたが、情報を聞き駆けつけてくださった雲南市近畿ふるさと会大東支部の皆さんの激励もあり、徐々に売り上げも伸び始めました。途中、販売が行き詰る場面もありましたが、生徒たちは「もっと大きな声を出そう」と励ましあい、最後は商品をほぼ完売させました。



販売中、生徒たちは雲南ブランドと映画「うん、何？」のPR用Tシャツを着用。お客さんに商品を勧めると同時に、観光パンフレットを用いながら積極的に市の魅力を紹介してくれました。



異郷の地で、市の魅力を紹介したことは、ふるさとを見つめ直し、郷土への愛情を育てる契機になったように思います。

最後になりましたが、活動を実施するにあたり多くの支援をいただきました。特にJA雲南の皆様には事前学習、商品の手配、当日の職員派遣など、大変お世話になりました。誠にありがとうございました。

今後もよりよい教育活動を実践するため、地域の皆さまのご支援・ご協力をお願いします。

生徒の感想

- 商人体験で人に買ってもらうことがすごく大変だと分かった。恥ずかしがってはいけませんと分かった。これからはもっとお金を大切にしたい。
- 知らない人に声をかけることがどんなに勇気がいることか分かった。

編集後記

季節ごよみ 今年の出来は？



10月の刈り取り作業は遅いほうでしょうか？市内の小学生が稲刈りを体験しました。

あつという間に涼しくなると、朝晩は寒いくらいです。寒さになると、首が痛くなります。痛くて思うように首が動かせないこともあります。仕事やスポーツのときはもちろん、車の運転や着替えにも差し支えるので、冷えないように気をつかいます。寝るときも慎重です。みなさん、体の節々が痛くなったり、風邪をひいたりしたときはくれぐれも無理をされませんように。

右に稲刈りの写真を載せましたが、昨晩わが家では新米が炊き上がりました。ツヤのあるみずみずしいご飯はとてもおいしかったです。今年も裏庭の栗がたくさん実り、栗ごはんもたくさん食べました。サツマイモやかぼちゃもたくさんよく食卓に並び、旬の食材を満喫しています。まさに実りの（食欲の？）秋です。

ふるさと祭りなどが各地で開催されています。紅葉狩りにも行きたいですね。首の痛みは心配ですが、色々楽しみの多い季節です。

・市報うんなんは、お近くの総合センターや公民館にもあります。
 ・市報うんなんに対するご意見、ご感想はこちらまで！

政策企画部 情報政策課
unnan-city@city.unnan.shimane.jp

人口 44,840人 男性・21,624人
 世帯数 13,632世帯 女性・23,216人
 (平成19年10月1日現在)